

福祉・教育・教会のネットワーク作り 人材育成が急務

福祉・介護の「働き人」を育て送り出す

キリスト教社会福祉の理念による
福祉・教育・教会のネットワーク

第1回 サポートネットワーク シンポジウム

参加無料

【講演】 福祉とキリスト教
「おめでと〜」で始まる
「ありがとう」で終わる人生

【講演】 福祉とキリスト教
「おめでと〜」で始まる
「ありがとう」で終わる人生

2015年5月30日(土) 13:00-17:00 (開場 12:30)

定員 200名 会場 荻窪栄光教会

www.kg-tokyo.or.jp

キリスト新聞

2015年4月25日【土曜日】

発行所 キリスト新聞社
東京都新宿区新小川町

■和光市オフィス
〒351-0114 埼玉県和光市本町15-1
和光プラザ2階

電話：048-424-2067
ファクシミリ：048-424-2068
振替口座：00180-4-196016
URL：http://www.kirishin.com

©キリスト新聞社 2015
週刊・土曜日発行/第5週土曜日休

●予約購読料(送料共)

半年分 7,900円 1年分 15,700円
1部定価300円(本体278円)

購読のお申し込み・見本紙の請求
電話・ファックス・葉書・ホームページから

講師、パネリストらが意識共有

第1回サポートネットワークシンポジウム

社会福祉法人キングス・ガーデン東京(泉田昭理事長)は、キリスト教社会福祉の理念による福祉・教育・教会のネットワークを作る足がかりとして、第1回サポートネットワークシンポジウムを5月30日、日本イエス・キリスト教団荻窪栄光教会(東京都杉並区)で開催する。これに先立ち4月14日、講師の市川一宏氏(ルーテル学院大学前学長)をはじめ、パネリストらが練馬キングス・ガーデン(東京都練馬区)に集まり、問題意識を共有するための座談会を行った。

参加したのは、パネリストの廣瀬薫(東京キリスト教団理事長、中島秀一(荻窪栄光教会牧師)、阿久戸光晴(聖学院理事長、院長)、中島真樹(練馬キングス・ガーデン施設長)の各氏。この日は、市川氏が基調講演として予定している内容について共有した上で、牧師、大学教員の立場から「伝道と社会的責任を分けて『魂の救済』こそ宣教だ」という狭い理解を改める必要がある、「牧師が信徒に仕えるように、教職員と学生も互いに仕える体験ができるような共同体を作らなければならない」と(廣瀬)、「牧師になることだけが『献身』ではない」という意識が、

教会ではなかなか浸透しない「日本の福祉はすべてキリスト教で賄う」という考えの概が必要(中島)。「福祉の現場へ送り出す側にも責任がある。長年の現場体験で疲弊している方々にも励ましになるメッセージを届けたい」と(阿久戸)などの意見が交わされた。中島真樹氏は、「誰もが愛され、大切にされる尊厳存在」として、支え合う地域づくりのため、ネットワークの輪を繋ぎ、広げていきたい。共に考え、共に一歩を進めていけたら」と参加を呼びかけている。申し込みは、氏名・職業・連絡先・メールアドレスのほか、希望する分科会、登壇者への質問などを記入の上、5月7日(木)までに、WEB、FAX、Eメール、ハガキ、電話で社会福祉法人キングス・ガーデン

担い支え合う中で充実する場に

中島真樹氏(練馬キングス・ガーデン施設長)

少子高齢社会を迎え、首都圏においてもその対策が迫られる中、地域における「支え合いの輪」を広げ、支えていくことが求められている。そのため当法人では、昨年よりサポートネットワークプロジェクトを開始した。

これは、キングス・ガーデンが活動のサポートを受けるためのPRにとどまらず、この首都圏における支え合う文化(福祉文化)の

啓蒙活動であり、キングス・ガーデン東京のような社会福祉法人だけでは担いきれない広範囲かつ多様な課題を、関係団体や住民が共に考え、連携し、解決のために協働していくためのソーシャルプロジェクトとも言える。

そのために、キリスト教社会福祉の理念により繋がる、例えば教会や教育機関、宣教団体などが連携を強め、個々の地域における

「分科会」①福祉・介護関係 ②教育関係 ③教会関係 ④福祉・介護サービスについて

【日時】5月30日(土) 13時~17時(12時半開場)

【会場】荻窪栄光教会(東京都杉並区南荻窪4の6の1)

【定員】200名

【基調講演】福祉とキリスト教——「おめでと〜」で

上げたが、これまでと同じ方法で募集しても反応がほとんどなかった。そこで、人材募集のノウハウを良く知っている企業からバックアップを受け、短期集中で広告にお金とパワーを相当使うことで、また資格を経験を問わないとハードルを下げることで、なんとかオープンまでに30人ほどの人材を確保することができた。

再来年の8月には、練馬キングス・ガーデンの倍以上の規模になる新施設「練馬の丘キングス・ガーデン」(仮称)の開業を予定して

おり、60人以上の大量の人材が必要となる。誰でも良いというわけではなく、ある程度のやる気と適性を持った人であれば、一定の研修を経て自立し、継続して働ける人材へと成長していくことができる。そして、その一人ひとりの職員が、たった一人の大切な利用者との出会い、その関わり合いの中で教えられ、磨かれ、この福祉・介護の仕事でなければ味わえない、何とも言えない充実感ややりがいを見出し、これからはより一層、受



パネリストとして登壇する(左から)廣瀬、中島秀一、阿久戸の各氏

入体制の充実化を図ると共に、わたしたち現場に身を置く者自身が、この魅力をわかりやすく発信していく必要があるだろう。同時に裾野を広げていくことも重要である。10年先の2025年には33万人もの介護職が不足するとの予測も出ている。わたしたちのような福祉事業所で専門職として働く者を増やすと同時に、多様な人材参加を促していく必要がある。

そのためには良い意味で分業をし、例えば部分的に役割を担える多様な人材が活躍できる場も共に考えていく必要があるだろう。そこは若者、学生、シニア

「スマホやめますか、それとも信大生やめますか。信州大学の山沢清人学長が入学式で入生に問い掛けた言葉が話題になった。インターネットには「スマホ依存症は知性、個性、獨創性にとって毒以外の何物でもありません」として、スマホを切って、本を読みましよう。友達と話しましょう。そして、自分で考えることを習慣づけましよう」と呼び掛けている。「本を読む」「友達と話す」「自分で考える」——いずれも大学生なら誰でも当然のこと。そうした当たり前のことができなくなるほどスマホに依存してしまふことが問題なのである。スマホを使うこととは是非が問われているのではない。せ

か大学に入学したのだから、スマホに依存して無為に時間を過ごすのではなく、キャンパス生活を充実させて独創性を培ってほしい——そのような思いが込められた学長の言葉は、我々の胸にも刺さる。スマホ依存の問題は、大学生に限ったものではないから、モノやサービスがあふれる現代。何も考えずにその中に埋没してしまふことは楽だろう。しかしそれは現実逃避しかない。時流に流されず、キリスト者としての自覚を常に持ち、何が大切なことを見極められるように努めたい。

子どもの里親募集

一人につき4千円/月

日本国際飢餓対策機構 ☎072-920-2225

http://www.jifh.org/

キリスト新聞に見る
あの日、あの時

■〈20年前〉1995年4月29日付
アジア太平洋平和財団理事長の金大中氏が4月15日、朝日新聞社ホール(東京)で「南北統一と日本の役割」と題して講演。東京のホテルでの拉致以来22年ぶりの来日。

■〈50年前〉1965年4月24日付
キリスト新聞社主催の第二次聖地旅行団一行28人は、4月18日羽田発日航機で、聖地エルサレムはじめヨーロッパ各国への1カ月に及ぶ旅行に出発した。

あなたの本づくりのお手伝いをします

自叙伝や遺稿集、教会史・説教集、研書などあなたが作りたいものはどんな種類の本でしょうか。出版される目的・用途、ご予算に合わせて、本の編集者が親切丁寧にお手伝いします。お見積もりは無料で致しますので、ぜひ一度ご相談ください。

キリスト新聞社・出版事業課
〒351-0114埼玉県和光市本町15-1

1週間で注目のツイートピックアップ

今週のつぶやき

@bible_hunter 4月15日 海でも反響を呼んだ「キリスト新聞」連載中の教派擬人化マンガ「ピューリタン」が、早くもアドゲーム化! 限定100個のβ版して500円で販売。「改革派」を含むメインキャラ6人が「おふわ」なゲームを展開! http://gamemarket.jp/booth/gml27

@dumtransisset 4月13日 キリスト新聞の「ピューリタン」第1話、お兄さんとクラスメイトがきたところで今回はおしまひまだどんな話になるのかわからないよね。でも「神の言葉を宣べえろ」とかそんな大仰なものはないと思う。すでにキリスト教である新聞読者が読んで、ある! と楽しめるようなものじゃないかな。

@dumtransisset 4月9日 ユーリタン」を読むために銀座文芸館に行ってキリスト新聞を買ってきました。学生時代に宗教部読んで以来。せつかく手に入れたのでよく味わって読みます。赤毛のアン風のメガネっ娘ですね。他のキャラクターが気に入ります。

ツイッター
アカウント @christwee